

## 48年度シグマ研究委員会第1回幹事会議事録

日時：48年5月11日（金）

場所：東海研核データ研，29号室

出席者：百田，塚田，中嶋，（後藤），更田，五十嵐，坂田，（田村），西村  
：（ ）代理

欠席者：桂木，飯島，久武

議事：

### 1. シグマ委員会の業務分担について（西村）

新年度における委員長，同代理，幹事（8名），および情報交換業務に関する担当者名について報告，原案通り了承された。

### 2. 原子力学会の編集委員会の報告（中嶋）

新年度より4つの部門別に専門委員会がもうけられ，学会誌にのせる解説，談話室等の原稿の企画をたてることになった。核データ関係は第1専門部会に属し，本年度の企画として現在考えられている項目は，

i) EAANDCについての紹介（解説）

ii) パリ会議に関する報告：（談話室又は解説）

iii) シグマ委の46，47年報：報告

である。なお，核データに関するPR記事を積極的に書くよう希望するとの報告があった。

### 3. 2年報について（中嶋）

4月18日付の中嶋氏の手紙（石原さんへの）により，原稿の分担項目，依頼先，タイムスケジュール等の原案説明があった。単なる2年間の記録を報告するというよりはむしろ，委員会の成果をPRする書き方がいい；10月号に載せる予定で作業を行なうこと；とかのコメントがあった。なるべく早い時期に関係者が集まって打合せ作業を進めることになった。

### 4. 49年度概算要求について（西村）

別紙の資料（原案）について説明，討議が行なわれ，字句の修正があった。

その結果，研究内容に次の2項目を追加した。

- I) 高速炉用FP炉定数の作成
- II) 核融合炉に関する核データの整備

さらに各項目毎に年度別のタイムスケジュールを作ること，その際，具体的に核種等を限定する。50年度以降については，核融合炉の核データについて活動の時期を早める方向に原案が修正された。

なお，核融合炉の核データについて，塚田氏より原研の動向が説明され，また学会の核融合炉調査委員会の意向を改めて平岡氏に聞き，文~~書~~<sup>書</sup>でもらうことになった。

書  
の

#### 5. バリ会議の報告（更田）

更田氏より次回委員会で詳しく報告したいとの説明があった。Havensからの報告（EANDC，INDC資料）のコピーを配布してあるが，これを読むこと，また同会議で発表したHavensの論文も参考になるとのコメントがあった。

#### 6. EANDCの準備会（塚田）

東京で開催されるEANDCのオブザーバー，ローカル・セクレタリーの候補者について塚田氏より意見が述べられたが，具体案を次回までに作成することになった。

#### 7. JENDLについての考え方

委員長から評価済み核データライブラリーを作成するとき，英国流（マイクロデータを基本とし，積分実験データに引きつられない）と米国流（積分実験データを考慮する）の行き方があるが，われわれのJENDLを整備していく場合，どちらの考え方を採用したらよいかについて専門部会で話し合うように提案があった。討論が行なわれたが，核データの評価側と炉定数の作成側とで今後とも充分意見交換を行なっていくことになった。

以上